

第6期福岡市男女共同参画審議会
男女平等教育・地域支援部会

<審議項目>

1	男女平等教育の推進
2	地域における男女共同参画推進活動の支援

<所属委員>

(五十音順 敬称略)

	氏 名	役 職 等
1	石内 絵衣子	福岡市七区男女共同参画協議会会長
2	石川 孝治	福岡市自治協議会等7区会長会代表
3	大久保 学	福岡市P T A協議会副会長
4	藤井 千佐子	福岡大学経済学部非常勤講師 元 西日本新聞社執行役員企画局長
5	前田 和美	公募委員
6	増川 郁子	福岡市立中学校校長会代表 (宮竹中学校校長)

重点評価項目 進行管理票

I 事務局記入欄	1 重点評価項目	男女平等教育の推進																																															
	2 基本目標	1 男女平等意識が浸透した社会を目指します。																																															
	3 施策の実施状況	<p>子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう、中学生向け出前セミナーを実施するなど、学校教育における男女平等教育を推進するとともに、あらゆる教育関係者を対象に男女共同参画の意識啓発のための研修を実施した。</p> <p>○小・中学生向け男女平等教育副読本の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向け:はらっば 発行部数:16,000部 活用率: 92.3%<92.3%> ・中学生向け:わたしらしく生きる 発行部数:14,000部 活用率: 55.1%<50.7%> <p>○男女混合名簿の採用 採用率 小学校: 99.3%<98.6%> 中学校: 47.8%<52.2%></p> <p>○中学校における職場体験学習の実施 参加学校数及び生徒数: 69校(100%) 12,115人<12,098人> 受け入れ事業所数: 3.290事業所<3,465事業所></p> <p>○中学生向け出前セミナーの実施 実施校数: 26校<23校></p> <p>○教職員への男女平等教育研修の実施 参加者数: 221人<225人> 講演「互いを尊重する関係のために -教育の新たな課題と子どもの支援をめぐる-」 講師:喜多 加実代氏(福岡教育大学教育学部教授) 実践発表「わたしらしく生きる」を使った男女平等教育の実践 発表:蒲池 里佳氏(警固中学校教諭)</p> <p>○教頭2年次研修の実施 参加者数: 50人<45人></p> <p>○公民館、区役所職員への研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任公民館職員研修 実施回数及び参加者数:34人<34人> ・公民館運営研修 博多区・中央区各1回、計72人 <東区・博多区・早良区各1回、計148人> ・区男女共同参画推進担当職員研修 参加者数: 12人<9人> 																																															
	4 数値目標、参考指標	<p>(指標) 男女平等教育副読本活用率:小学校向け「はらっば」</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 12.5%;">初期値</th> <th style="width: 12.5%;">目標値</th> <th colspan="5">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.8%</td> <td>100.0%</td> <td>95.1%</td> <td>93.8%</td> <td>96.6%</td> <td>92.3%</td> <td>92.3%</td> </tr> <tr> <td>(平成22年度)</td> <td>(平成27年度)</td> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成24年度)</td> <td>(平成25年度)</td> <td>(平成26年度)</td> <td>(平成27年度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(指標) 男女平等教育副読本活用率:中学校向け「わたしらしく生きる」</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 12.5%;">初期値</th> <th style="width: 12.5%;">目標値</th> <th colspan="5">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.5%</td> <td>50.0%</td> <td>32.8%</td> <td>33.8%</td> <td>39.1%</td> <td>50.7%</td> <td>55.1%</td> </tr> <tr> <td>(平成22年度)</td> <td>(平成27年度)</td> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成24年度)</td> <td>(平成25年度)</td> <td>(平成26年度)</td> <td>(平成27年度)</td> </tr> </tbody> </table>						初期値	目標値	実績					91.8%	100.0%	95.1%	93.8%	96.6%	92.3%	92.3%	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)	初期値	目標値	実績					43.5%	50.0%	32.8%	33.8%	39.1%	50.7%	55.1%	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)
	初期値	目標値	実績																																														
	91.8%	100.0%	95.1%	93.8%	96.6%	92.3%	92.3%																																										
	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)																																										
	初期値	目標値	実績																																														
	43.5%	50.0%	32.8%	33.8%	39.1%	50.7%	55.1%																																										
	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)																																										
5 評価区分	(1) 達成度			(2) 今後の方向性																																													
6 判定	B			充実																																													
7 判定理由・根拠	<p>○中学校向け副読本の活用率は、目標値を達成しているものの、さらに取組を進めていく必要がある。中学校における混合名簿の採用率にいたっては、前年度を下回っている。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを26校で実施した。また、受講した中学生の約80%が、男女共同参画について「よくわかった・まあわかった」と回答しており、若年層への性別にとらわれないキャリア形成への意識啓発に一定の成果を上げている。</p> <p>○教職員や公民館職員・区役所職員を対象に研修を実施し、学校教育や地域における男女共同参画推進に努めた。</p>																																																
8 懸案事項・課題	<p>○中学校における副読本の活用や混合名簿の採用について、教育現場の実態を把握・分析したうえで、活用及び採用の向上に取り組む必要がある。</p> <p>○次世代を担う子どもたちが性別にとらわれないことなく、進路選択や職業選択ができるよう、引き続き男女共同参画の視点に立ったキャリア教育(中学生向け出前セミナー等)を推進する必要がある。</p> <p>○教職員や公民館・区役所職員への研修を一層充実させる必要がある。</p>																																																
9 今後の取組	<p>○男女平等教育研修会において副読本の活用事例等を提示し、教職員への周知や理解を図るとともに、校長・園長連絡会等において、混合名簿の採用を進めるよう指導していく。</p> <p>○中学生用副読本について、近年の社会情勢を反映した内容への見直しの検討に引き続き取り組む。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを引き続き実施するとともに、教職員や公民館・区役所職員への研修の充実を努める。</p>																																																

	評価	(1) 達成度	(2) 今後の方向性
Ⅱ 審議会記入欄	【審議会意見】		

重点評価項目 進行管理票

I 事務局記入欄	1 重点評価項目	地域における男女共同参画推進活動の支援						
	2 基本目標	6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します						
	3 施策の実施状況	<p>福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」にあわせて、各校区において男女共同参画推進の取組が実施されるよう支援するとともに、他校区に先行したモデル校区の取組を通して地域の女性リーダー育成や、アマカス寸劇隊の派遣などにより、地域における男女共同参画推進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域における主体的取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで参画ウィーク(福岡市男女共同参画週間)」にあわせた校区取組への支援 ・週間やシンボルマークを活用した広報・啓発 ○モデル校区地域リーダー育成塾の実施 <ul style="list-style-type: none"> モデル校区(東区若宮校区、城南区堤地区) ・アドバイザーの派遣(男女共同参画推進サポーター 各校区2名) ○「第3回男女協サミット&モデル校区地域リーダー育成塾報告会」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 227人 内容：第1部 モデル校区活動報告(2校区) 第2部 講演：一人ひとりが輝く“朝”を迎えるために 講師：脚本家 大森 美香氏 ○地域における諸団体の長等への女性の参画状況 18.2%<18.4%> ○七区男女共同参画協議会の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・七区男女共同参画協議会代表者会の開催 4回<4回> ・各校区の男女共同参画研修会実施調査 ○男女共同参画地域活動ハンドブックの作成 7,000部 ○男女共同参画出前講座の実施 28件 923人<15件 405人> ○アマカス寸劇隊の派遣 24件<19件> ○公民館、区役所職員への研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新任公民館職員研修 参加者数:34人<34人> ・公民館運営研修 博多区・中央区 各1回、計72人 <li style="padding-left: 40px;"><東区・博多区・早良区 各1回、計148人> ・区男女共同参画推進担当職員研修 参加者数:12人<9人> 						
	4 数値目標、参考指標	(指標) 「みんなで参画ウィーク」の取組を実施した校区数						
		初期値	目標値	実績				
		23校区 (平成23年度)	146校区 (平成27年度)	23校区 (平成23年度)	120校区 (平成24年度)	138校区 (平成25年度)	136校区 (平成26年度)	139校区 (平成27年度)
	5 評価区分	(1) 達成度			(2) 今後の方向性			
	6 判定	B			充実			
	7 判定理由・根拠	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで参画ウィークの広報・啓発に努めるとともに、コーディネーター派遣等、校区の取組への支援を実施し、ほぼ全校区である139校区で主体的な取組が実施された。 ○男女共同参画地域活動ハンドブックを活用した研修等も、校区で行われた。 ○モデル校区2校区において、校区の状況や課題に応じた地域の女性リーダー育成に先行して取り組むとともに報告会を開催するなど、女性リーダー育成に一定の成果は上がっている一方で、地域の諸団体の長等への女性の参画は十分とは言えない。 						
8 懸案事項・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで参画ウィーク」の周知に努め、全校区で週間に合せた主体的取組が実施されるよう、地域への支援をさらに充実させる必要がある。 ○地域活動の方針決定過程への女性の参画を促進するため、より多くの女性リーダー育成に取り組む必要がある。 							
9 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで参画ウィーク」が地域に定着するよう広報・啓発に努めるとともに、地域における男女共同参画推進の取組が、全市的に広がりを持って展開されるよう、七区男女共同参画協議会と連携し、地域の主体的な男女共同参画推進活動を支援する。 ○地域ですでに自治活動に携わっており、今後活躍が期待できる女性を対象に、リーダーに求められる資質の向上のための学習機会等を提供する事業を実施する。 							

	評価	(1) 達成度	(2) 今後の方向性
Ⅱ 審議会記入欄	【審議会意見】		